

長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL(0957)49-8050(代) FAX(0957)49-8056
発行責任者 西村伊知恵
印刷 株式会社インテックス



Nagasaki Nursing Association

令和2年 年頭のごあいさつ 看護協会 会長／副会長／専務理事	2	令和元年度 長崎県看護学会 学術集会の報告	5
子年生まれの皆さんに、それぞれの抱負を聞きました!! 今年の抱負	3~4	ワークライフバランス 小江原中央病院・諫早記念病院	6~7
看護師国家試験に挑戦	4	病院紹介 長崎県五島中央病院	8

看護部理念である、
「私たちは、患者様の権利を尊重し、
安全で安心な医療と看護を目指し
地域住民に質の高い看護を提供します」
を掲げ日々努力しています。





今年もよろしく お願いいたします

会員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。
皆さま方にはお健やかに新年をお迎えのことと思います。

昨年は、平成から令和への改元という国民にとっての大きな慶事がありました。その一方で、自然災害や火災など想像を超える災害に見舞われ、心を痛めることも多く、世の中いつ何が起るかわからない、だからこそ日ごろからの備えが大事ということを感じた年でした。

さて新年のスタートです。

まずは会員のみなさまにとって、健康で、幸せな年であることを心から願います。私は会長としての一期2年を振り返り、会員の皆さまが、健康で安心して働き続けられるように気を引き締めて努力してまいりたいと思います。

どうか、みなさま方の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

会長 西村 伊知恵

新年おめでとうございます。

令和元年度は皆様のご協力により安定した事業展開を行なうことができ感謝しております。

自治体での地域包括ケアシステム構築がすすめられる中、仕事と家庭の両立に加え自己研鑽や地域貢献に目を向ける看護職の真面目な姿勢を改めて実感した1年間でした。

今年度は働き方改革の更なる推進や診療報酬の改定などもあり職場の環境も益々変化していきます。これらの情報や活用について皆様に寄り添い支援できるような活動をしたいと考えています。今後も御協力宜しく願います。

副会長 上田 光子

あけましておめでとうございます。

本年も、「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」を目指して、一万人を越えた会員の皆様とともに、看護職として誇りを持って、いきいきとその役割を発揮できるよう学び、考え、実践できる長崎県看護協会活動を進めていきましょう。

副会長 坂田 千枝子

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。いよいよ今年は、東京オリンピックの年です。私も何かに挑戦する年にしたいと思っています。皆さんも自己実現に向かってチャレンジしてみませんか？

副会長 久家 美智代

定年後に仕事を続けている看護職が増えていきます。“仕事を続けたい人”と“仕事を続けられる環境”とが整いつつあるようです。人生100年時代、体力・気力・経験・免許、持っている力を活かすことが求められているようです。

専務理事 森口 洋子

2020年 今年の抱負 インタビュー

子年生まれの皆様にご協力いただき、2020年の抱負を掲載しました!!

ねずみ年の傾向

男性

- ・小さなことによく気が付く
- ・周りの人のことを大切にすあまり、自分の意見を言うのが少し苦手
- ・臆病で神経質
- ・現実可能な目標を立て、こつこつ努力することができる

女性

- ・恋多き女 ・家族思い ・姉御肌
- ・努力すれば社会でリーダーシップをとって活躍

男女とも

- ・目上の人に可愛がられ、大抜擢をされる可能性がある
- ・独立心旺盛で自分の道を自分で切り開いていく
- ・協調性があるって明るく、人当たりが良い



日浦病院
岩村 瑞菜

私は日浦病院に勤務して1年が経ちます。当院の入院患者は高齢の方が多く、認知症の患者の対応や終末期ケアの難しさを日々実感しています。今後、患者さん、その家族に、より信頼される看護師になりたいです。



佐世保記念病院
松田 由花梨

職場の異動という大きな環境変化がありスタート。毎日むしゃらに仕事と子育てを両立、反省をする暇もなく突っ走る日々でした。今年、周囲の協力も得ながら日々の学びを活かし看護師としても母親としても成長が見える年にしたいです。



佐世保記念病院
山田 めぐみ

今年の抱負、目標としてはプライベートの充実。趣味や旅行などの楽しみを取り入れ、仕事、家庭のことに取り組みたいです。職場を変わって3年目。楽しく雰囲気の良い職場環境を意識し緊張感もしっかり持って毎日頑張ろうと思います。



済生会長崎病院
松山 美史

4月で看護師入職2年目を迎えます。今年の目標は、先輩方から学んだことを活かし自分のできないことを明確にすること、根拠を持った看護ができるようになることです。チームの一員として自分の役割を果たせるようがんばります。



公立新小浜病院
町田 有華

新年明けましておめでとうございます。今年は、昨年修了した研修の成果を活かし、新しい視点からの看護ができたらと思っています。患者様だけでなく病棟スタッフにも笑顔が増えるように、明るく元気に頑張ります!



長与病院
柳原 希

私は、販売員から転職で看護職になりました。職種は違うのですが、人に対する言葉使い、丁寧な接し方はどの職業でも大切な事だと思います。その気持ちを常に心がけながら、これからも仕事に励みたいと思います。



長与病院
峯下 瞳

私は、現在2年目で准看護師として病棟勤務をしています。日々多忙の中業務をしながら先輩方からわからないことがあったら聞いたり、自分で調べて日々勉強をしている所です。今年は患者様が何をしてもらいたいのか今どういう状態なのかを考え、一歩踏み込んだ看護を提供できるようにしたいです。



長崎原爆諫早病院
小野 紗季

夢だった看護師として働き始めて、もうすぐ1年になります。緊張や不安もありながら、必死に先輩方の後ろをついていった1年目でしたが、2年目も日々向上心を持ち、患者さんや家族に寄り添った看護が出来るよう頑張ります。



長崎原爆諫早病院
吉田 光浩

今年は年男という節目の1年を迎えます。昨年度、特定行為に係る看護師の研修の2区分を修了する事ができました。特定行為看護師として、今年はチャレンジの1年と考えます。健康に留意し、素敵な1年が過ごせる様に頑張ります。



看護師国家試験問題へ挑戦!!

新年となり、来月には看護師国家試験が実施されます。看護師全員が通った道ですが、学生の時の学びをどの程度覚えているでしょうか？



看護師国家試験 傾向と対策(プチナースvol28より抜粋)

- | | |
|--------------------------------|--|
| ①感染症の潜伏期間で最も長いのはどれか | ③嚥下障害を評価する改訂水飲みテストで正しいのはどれか |
| 1. インフルエンザ 2. 結核 | 1. 嚥下後 10 秒間で評価する。 2. 嚥下動作の準備期を評価する。 |
| 3. ノロウイルス性胃腸炎 4. 流行性耳下腺炎 | 3. 嚥下後の呼吸状態を評価する。 4. 80ml の嚥下状況を評価する。 |
| ②右前腕に持続点滴をしている患者の寝衣交換で適切なのはどれか | ④先天異常で正しいのはどれか |
| 1. 左袖から脱ぎ、右袖から着る。 | 1. 軟骨無形成症は低身長になる。 |
| 2. 左袖から脱ぎ、左袖から着る。 | 2. Turner<ターナー>症候群は高身長になる。 |
| 3. 右袖から脱ぎ、左袖から着る。 | 3. Klinefelter<クラインフェルター>症候群は低身長になる。 |
| 4. 右袖から脱ぎ、右袖から着る。 | 4. Pierre Robin<ピエール・ロバン>症候群は巨舌症がある。 |

解答は裏表紙へ!!

令和元年度 長崎県看護学会学術集会報告

学会報告

8月31日、ながさき看護センターにおいて「地域包括ケアシステムの構築～地域でその人らしさを支える長崎の現状～」をメインテーマに、長崎県看護学会学術集会が開催されました。県内各地から367名が参加し、口演24演題、示説7演題の合計31演題が発表され、センター内の5会場は多くの参加者で盛り上がっていました。



令和元年度長崎県看護学会学術集会 「最優秀抄録賞」受賞について

演題「熊本地震におけるDPATの実状と課題」

～避難所看護師へのインタビュー調査を通して見えてきたこと～

長崎県精神医療センター 後藤 悌嘉

この度、最優秀抄録賞を受賞することができた事を大変光栄に思います。長崎県DPATの一員として熊本地震の支援に参加した後、精神科専門職のスキルをもっと効果的に提供できたのではないかとといったジレンマがこの研究を進める原動力となりました。研究対象者の方をはじめとして、対象病院の管理者の理解、所属先上司の支援、さらには、協会からの助成金交付と多くの方々の協力があったの賞だと感じています。今後もさらなる研鑽に励みたいと考えております。ありがとうございました。

「最優秀抄録賞」の選考について

学会委員長(佐世保共済病院看護部長) 井口 恵美子

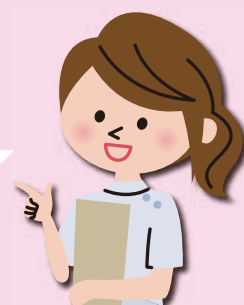
長崎県看護学会学術集会演題及び抄録作成要領、抄録原稿見本に則り作成されているか否かを査読員2名と学会委員で査読し「できている」1点、「出来ていない」0点で点数化しました。今年度の受賞者は27点満点中25点という大変すぐれた結果でした。内容も昨今の自然災害を踏まえた題材でありDPATを通じて避難所での専門職者の思いを知る大変貴重な機会であり研究であったと高く評価しました。

県の学術集会は看護研究の登竜門として活用していただける場です。気負わず楽な気持ちで参加・発表してください。研究の面白さにきっと出会えます。



学会へ参加して

平成23年度から抄録賞発表、平成26年度からは座長賞が発表されるようになり、発表する側にとってもモチベーションアップにつながる学会となっていました。身近なテーマに、集まった参加者からは興味ある質問がされており、自施設を振り返る良い機会となりました。



医療法人慈恵会

小江原中央病院

長崎市小江原町2丁目1-20

【病院の特徴】

当院は長崎市西部地区に位置し地域医療の一端を担っています。急性期、回復期、医療療養の病棟を有しケアミックス型の施設です。2019年度は、回復期病棟から地域包括ケア病棟への転換を行います。

内科的疾患患者の看護、整形外科疾患患者の周術期看護、リハビリテーション看護、慢性期の看護と幅広い看護を行っています。

当院の理念である“患者さんの身になって、思いやりの医療”の実現に向けて、職員一人ひとりの人間的成長に力を注ぎ、誰に対しても心のこもった医療、看護を提供することで、患者さんにも満足していただき、同時に職員も明るく輝いて働くことができる環境創りを目指しています。



【設置主体】医療法人

【病床数】一般病床36床、療養病床59床、回復リハ44床、地域包括ケア10床

【病床稼働率】91%(2018年度)

【入院基本料】一般10対1

【看護職員数】75人(正規47人、短時間正規7人、非正規21人)看護補助者45人

【看護職の平均年齢】40.2歳

【離職率】20.0%(2018年度)



ワークライフ
バランス

主な取り組み		1年目(平成28年度)
平成28年度の取り組み	プラン1 ◎時間外労働の削減 ・WLB委員会の立ち上げ ・インデックス調査の実施 ・リハビリ科残業代実態調査 ・医師からの指示出し時刻設定	1年目の成果 ◆WLB活動が浸透し、意識改革できるかが課題。 ◆職員の労働実態調査で現状が把握と問題点抽出できた。 ◆残業代が一部支払われていなかったのでは正できた。 ◆時間外労働の減少に一定の効果があった。 ◆看護でまず導入できた(年間公休数が97日→108日↑)。 ◆年間3日取得できた。 ◆紹介制度、看護師就職支度金制度導入できた。 ◆多様な勤務形態導入ができた。産休や病気休暇後の復職が段階を追ったスムーズなものとなった。同時に夜勤者を賞与で評価するシステムを設定し、夜勤専従者を採用した。 ◆興味のある職員が多く継続することが決定した。 ◆自身の心の状態を知り、不調者には個別対応した。 ◆同僚に感謝の言葉をカードにして伝えるが、数多くもらった職員は表彰をすることとした。 ◆交代で朝玄関に立ちあいざつしてもらおう。全部署に参加してもらおうことが課題。
	プラン2 ◎休みをとる ・4週8体制導入 ・リフレッシュ休暇取得 ・マンパワー増加のため採用に力を入れる	
	プラン3 ◎制度の利用 ・多様な勤務形態の導入(勤務時間や夜勤可・不可での賞与率の調整) ・就業規則等の制度、メンタルヘルス勉強会実施	
	プラン4 ◎満足度の向上 ・メンタルヘルスチェック実施 ・スマイルカード開始 ・あいざつ運動スタート	
平成29年度の取り組み	プラン1 ◎時間外労働の削減 ・業務量調査からワークシェアの可能性を考える ・電子カルテ導入	2年目の成果 ◆業務を委譲できそうな部署、業務内容を精査することとした。 ◆病棟クラークを各部署に配置した。時間外労働削減に期待したが、逆に慣れるまでは業務が煩雑化した。 ◆年間公休数は増加したが、有給休暇の取得率増加は難しい。 ◆看護補助者の待遇改善に寄与。 ◆退職した職員を数名呼び戻すことができた。 ◆「介護福祉士を目指したい」などのスキルアップにつながった ◆保育士と保護者の意見交換をする機会を得た。 ◆コメディカル部門の昼食スペースの確保ができた。
	プラン2 ◎休みをとる ・4週8体制の定着	
	プラン3 ◎制度の利用 ・看護補助者の賞与基準引き上げ ・介護福祉士の特殊手当増額	
	プラン4 ◎満足度の向上 ・院内保育所保護者会実施 ・休憩室の増設	
平成30年度の取り組み	プラン1 ◎時間外労働の削減 ・残業申請許可制導入	3年目の成果 ・不要な残業時間を減少させることができた。 課題：改善可能な事項と捉えている ・医師のオーダーストップ16時が継続できず、電子カルテ導入後からエンドレスに近い指示受け状況。 ・予定外入院患者が、全体の約半数を占めており、入院時刻が遅くなり業務が押されている状況。 ・実施実現できず。 課題：2019年度からは、法改正により有給取得5日は必須事項となっており、有給積み立て制度は据置きとなった。 ◆キャリア支援に貢献している。全職員自主的な学習がいつでも受けられる環境にある。受講状況から個人の自己啓発心の指標にも活用できる。 ◆看護学生、6名の採用を行った。 ◆野球部、書道部、登山部、アロマ部を設置した。今後、部を増して参加者を募りたい。部署を超えたコミュニケーション、メンタルヘルスの効果に繋がった。更に、活動費の一部としての支援も受けられる状況にある。 ◆2018年9月活動実績を評価していただき長崎市から「男女イキイキ企業表彰」を受賞した。
	プラン2 ◎休みをとる ・有給休暇積立制度導入検討	
	プラン3 ◎制度の利用 ・eラーニングの導入 ・看護学生奨学金制度導入	
	プラン4 ◎満足度の向上 ・院内サークル活動開始 ・長崎市いきいき企業表彰	

WLBの取り組みを振り返って

小江原中央病院は約3年間 ①時間外労働削減 ②休みをとる ③制度の利用推進 ④満足度の向上の4つの柱でWLB活動を行った。その結果、一定数の職員においてWLBに対する意識が芽生え、新たな制度もいくつか導入できたが、実感としては改革と言えるほどの変化は起こせなかった。

しかしながら、今後、個人単位で自分の働き方の評価をするうえで、指標となるべき項目は示すことができたのではないかと考える。

政府の働き方改革法制度施行も加速化していくなかで、令和以降は、WLB活動が事業の存続する限り当たり前に併走すべき活動になるだろうと実感している。

看護部長 山口ひとみ

医療法人宏善会 諫早記念病院

諫早市天満町2-21

【病院の特徴】

患者様やご家族の要望に常に耳を傾け、心のこもった信頼される看護の提供に努めております。「こころと手を使ったケア」として「アロマセラピー」を取り入れ、認知症、不眠、冷感、終末期の患者様に好評です。また住み慣れた地域に早く退院できて長く生活できるように退院後訪問や訪問看護等に力を入れております。循環器、糖尿病の医療看護は地域の中心となるように努めております。明るい職場、譲り合いの精神があることと看護職のキャリアアップ支援があることで在職年数が年々伸びているのが特徴です。



- 【設置主体】医療法人宏善会
- 【病床数】急性期一般病床34床、地域包括ケア49床
地域包括ケア病床+療養病床29床
- 【病床稼働率】86%(2018年度)
- 【入院基本料】一般7対1、地域包括ケア入院医療管理料1、療養病床医療管理費1
- 【看護職員数】看護師・准看護師90人(正規74人、短時間正規3人、非正規16人)看護補助者31人
- 【看護職の平均年齢】看護師40.8歳、看護補助者39.7歳
- 【離職率】2.4%(2018年度)



平成28年度の取り組み

主な取り組み

プラン1

◎WLB推進体制作り

- ・委員会ネーミングとキックオフ宣言

プラン2

◎看護部の現状把握

- ・業務内容調査、インデックス調査、業務量調査にて看護部の問題の洗い出し

プラン3

◎看護ケア時間確保のための業務改善と労働実態の可視化

プラン4

◎病院側及び総務課との連携

1年目(平成28年度)

👑 1年目の成果

- ◆「よかばっ会」とネーミングし月1回委員会開催。部署と掲示板にポスター掲示。
- ◆看護部現状:「雑務、中継業務が多い」「看護ケアに費やす時間を十分に取る事が出来ない」内容として処方指示待ち、申し送りに時間がかかっている
- ◆業務改善
 - ・定時処方時間の決定と臨床担当者会議にて周知
 - ・朝礼時間変更
- ◆病院就業規則の周知
 - ・総務課から就業規則説明会を6回開催

インデックス調査と委員会でのディスカッションから看護部の問題が明確化された。委員会は仕事の「やり易さとやりがい」を目標と決定

平成29年度の取り組み

プラン1

◎看護ケア時間確保のための業務改善と労働実態の可視化

- ・可視化項目の決定
- ・年度の業務改善項目決め

プラン2

◎病院側及び総務課との連携

2年目(平成29年度)

👑 2年目の成果

- ◆時間外処方件数、年休取得状況、時間年休、連休取得状況、引継ぎ時間を可視化項目とした
- ◆業務改善
 - ・オムツ使用代金を病院管理へ変更
 - ・配茶を栄養科へ委譲
 - ・朝の引き継ぎ時間短縮への取り組み
- ◆やりがいのための「やりたい看護」の模索
- ◆夜勤手当アップ、時間休暇・有休取得の奨励

オムツ使用代金を病院管理へ変更及び配茶移譲等の業務改善により看護補助者の保清時間確保や看護師の訪室ケアにつながった。また連続休暇、時間休暇等の奨励及び病院からの夜勤手当アップ等の支援も拡大され病院帰属意識も上がり離職率も更に低下。各病棟「やりたい看護」を模索し病院ビジョンの「心のこもった医療」に沿った退院後訪問やアロマトリートメントの拡大に努めると決め、取り組み始めた。

平成30年度の取り組み

プラン1

◎看護ケア時間確保のための業務改善と労働実態の可視化

- ・他引継ぎ時間の短縮(朝、夕)他施設見学
- ・超音波治療のリハ科委譲
- ・入院請求書渡しを医事課へ委譲
- ・検体回収を検査科へ移譲
- ・各データの可視化継続

プラン2

◎病院側及び総務課との連携

- ・「入学お祝い金」の新設

プラン3

◎WLB推進活動評価

- ・インデックス調査
- ・業務量調査

3年目(平成30年度)

👑 3年目の成果

- ◆超音波治療をリハ科に移譲(患者安眠へ)
- ◆入院請求書を医事課へ委譲(患者家族の質問に即対応)
- ◆「入学お祝い金」の新設にて子育て世代の帰属意識が上昇
- ◆引継ぎ時間:朝10分前後、夕25分前後(各10分改善)
- ◆始業前残業是正:始業開始時間を守ること、始業前残業がなくなった。結果、職員の生活に余裕ができた
- ◆当院WLB推進活動が長崎新聞に掲載

3年間の成果

看護ケアに十分費やせる	40%⇒41.1%	時間年休取得件数、5連続以上の連休取得:共にアップ
自分の能力向上となる	56.4%⇒61.2%	在宅訪問件数:142件/年、アロマセラピー:688件/年
必要に応じ休みが取れる	72.9%⇒82.3%	(患者から好評、共に少しずつ件数上昇、アロマトリートメントで看護師も癒された)
労使関係	40%⇒75%	
離職率	5.4%⇒2.4%	

課題

- ・夕方の引継ぎ時間の短縮、夕方のサービス残業の是正
 - ・業務改善を繰り返して在宅訪問件数、アロマトリートメント件数も増加させる
- ★上記から更に仕事の「やり易さとやりがい」に繋ぐ

WLB推進事業に取り組んで

3年間のWLBの取り組みで小さな業務改善が沢山できた。その後も委員会活動は継続し、令和元年度の取り組み事項は医事課、営繕課、売店と連携し(1)紙おむつの変更に取り組んでいます。目的は①業務改善②患者様経費の軽減③地球に優しく(ごみを減らす)です。看護部独自では(2)前残業の是正①申し送りの廃止または時間短縮②患者情報収集の変更を実施しています。働き方改革ややりがい感の向上は看護部だけでなく院内全ての職員の課題ですので引き続き他部門とも連携し更に一人一人が自分の施設を愛し働き易く、やりがいを持てるように努めていきます。

看護部長 中尾 理恵子

病院 紹介

長崎県五島中央病院



長崎県西部の東シナ海上に浮かぶ五島列島には、大小あわせて140あまりの島々があり、なかでももっとも面積が大きく、人口が多い福江島を擁するのが五島市です。この五島市全域をカバーする中核病院が長崎県五島中央病院です。病院の前身は明治10年に設立された郡立病院で、1968年に長崎県離島医療圏組合五島中央病院に名称変更になり、2009年から長崎県病院企業団の発足時に現在の長崎県五島中央病院となっています。地上5階建ての建物に病床数304床を擁し、内科、精神科、小児科、外科、整形外科など16の診療科を備え、また洋上救急にも対応するなど離島の医療施設として地域の医療を支えています。

病院の理念として掲げてある“五島の地域医療に貢献し、患者様に信頼される病院をめざします”を实践すべく、五島市の他の医療機関では出来ない高度・専門医療(心臓カテーテル治療、内視鏡の治療、がん医療では手術・化学療法などのがん医療)や離島では不足しがちな救急医療、周産期・小児医療、精神科医療を一手に引き受けています。



新人研修



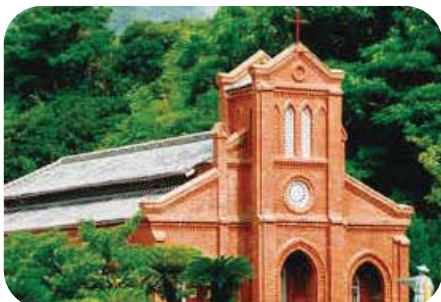
救急看護認定看護師
による新人研修



看護部感染研修



堂崎教会



江上天主堂

